

# 災 害 救 護 速 報

平成 29 年 7 月 8 日 (土) 19:00 現在  
 事業局 救護・福祉部 救護課  
 TEL: 03-3437-7084 / FAX: 03-3435-8509

※内容・数値等は、随時更新されます  
 ※下線部は前回速報からの追加・変更箇所

## 平成 29 年 7 月 5 日からの大暴雨による災害に伴う日本赤十字社の対応について (4)

標記災害に伴う日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

### 1 気象の状況 (7月 8 日 18:30 消防庁災害対策本部発表資料による)

- 梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった。
- 九州北部地方では、5日昼頃から積乱雲が次々と発生し連なる状況(線状降水帯)となり、  
6日昼前までの24時間に福岡県朝倉市で545.5ミリ、大分県日田市で370ミリを観測(いずれも観測史上1位、7月一ヶ月間の平年雨量を超える)するなど、記録的な大雨となった。
- 西日本では、9日にかけて激しい雨の降るところがあり、9日6時までの24時間に予想される雨量は、多いところで九州北部地方で150ミリ、九州南部で120ミリの激しい雨が降る見込み。

### 2 人的・物的被害の状況 (7月 8 日 18:30 消防庁災害対策本部発表資料による)

都道府県名	人的被害				住家被害				
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
			重傷	軽傷					
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟
島根県				1				3	18
広島県								4	17
愛媛県				1					
福岡県	12	3	2	8	7	7	25	32	151
佐賀県							1	1	71
長崎県									6
熊本県				5			8	3	24
大分県	3		1	4	7	6	12	86	105
合計	15	3	3	19	14	13	46	129	392

## 3 避難の状況等 (7月8日 18:30 消防庁災害対策本部発表資料による)

都道府県名	市区町村名	避難指示（緊急）		避難勧告	
		対象世帯数	対象人数	対象世帯数	対象人数
島根県	益田市			0	0
	小計			0	0
山口県	下関市			0	0
	岩国市			0	0
	小計			0	0
福岡県	久留米市			0	0
	北九州市	0	0	0	0
	宗像市			0	0
	うきは市			0	0
	朝倉市	0	0	21,256	54,412
	東峰村			0	0
	添田町	0	0		
	苅田町			0	0
	小計	0	0	21,256	54,412
熊本県	熊本市			7,172	16,500
	菊池市			695	2,186
	宇土市			14,955	37,431
	宇城市			23,804	59,920
	美里町			2,980	7,372
	大津町			0	0
	菊陽町			0	0
	南小国町			1,768	4,152
	産山村			571	1,408
	南阿蘇村	0	0	0	0
	小計	0	0	51,945	128,969
大分県	中津市			4,177	9,187
	日田市	12,651	40,033	4,093	10,229
	小計	12,651	40,033	8,270	19,416
合計		12,651	40,033	81,471	202,797

#### 4 日本赤十字社の対応

7月8日19:00現在、日本赤十字社各県支部・施設における被害は確認されていません。

##### (1) 支部の対応

###### ア 第5ブロック

###### ○島根県支部

7月5日 06:05	第1次救護体制にて情報収集。
06:10	第2次救護体制に移行。災害警戒本部を設置。 島根県災害対策本部と連絡調整のうえ、アセスメントや救援物資の配布等を準備。
08:10	益田赤十字病院災害対策本部を設置。
09:00	益田市地区（市社会福祉協議会）から毛布の支援要請あり。
10:31	支部職員2名が救援物資（毛布800枚）搬送のため益田市に向け出発。
13:30	益田市地区に毛布800枚を引き渡し。
17:00	支部救護体制を第1次救護体制に移行。

###### イ 第6ブロック

###### ○福岡県支部

7月5日 16:00	第1次救護体制にて情報収集を実施。救護担当職員が当直体制。日赤災害医療コーディネーターの医師と状況を共有。
7月6日 08:30	福岡県庁及び朝倉市役所災害対策本部に支部職員を連絡調整員として派遣し、情報収集を実施。
09:40	支部事務局長、事業部長、日赤災害医療コーディネーターの医師を福岡県庁に派遣し、医療救護の調整を実施。
10:50	被災した地区からの要請を受け、朝倉市へ毛布500枚、大刀洗町へ毛布50枚やタオルセット10セットを搬送。
12:30	医療ニーズの調査のため、要員の派遣準備。
14:45	アセスメントチーム第1班（嘉麻赤十字病院）を東峰村へ派遣。
17:35	アセスメントチーム第1班が活動を終了。 アセスメントチーム第2班（福岡赤十字病院）を東峰村・宝珠山方面へ派遣、7日朝から活動開始予定。
7月7日 11:00	アセスメントチーム第2班が二手に分かれて活動中。 ① 医師、看護師、主事にて糖尿病患者の診療（15名ほど）。 ② 看護師長、看護師、主事にて医療ニーズ調査を実施。

7月8日 10:20 朝倉市福祉事務所からの要請を受け、朝倉市へ毛布500枚、安眠セット1,005セットを搬送。

15:00 日赤災害医療コーディネーターの医師及び支部職員が、DMA T（災害派遣医療チーム）及びJMAT（日本医師会災害医療チーム）と、アセスメント結果を基に今後の活動を協議。

○佐賀県支部

7月6日 09:30 第1配備体制にて情報収集等を実施。

○熊本県支部

7月5日 関係機関への情報収集等を実施。

17:00 第一配置 警戒体制にて情報収集を実施。支部職員自宅待機。

7月6日 08:45 被害状況及び救援物資の不足の有無等について地区・分区から情報収集を実施。

14:00 支部職員2名を連絡調整員として熊本県災害対策本部へ派遣。

16:30 連絡調整員が情報連絡会議に出席。

17:00 救護班2個班が準備態勢を整える。

○大分県支部

7月5日 20:05 第1次救護体制にて情報収集を開始。  
支部職員を大分県災害対策本部へ連絡調整員として派遣し、情報収集を実施。  
救護担当職員が支部待機。

7月6日 大分県災害対策本部に支部職員を連絡調整員として派遣。  
日赤災害医療コーディネーターの医師が支部に入り、情報収集等を実施。

7月7日 13:30 アセスメントチーム第1班（大分赤十字病院）を大分県西部保健所（日田市）へ派遣。

15:10 アセスメントチーム第1班が同保健所に到着。

17:07 日田市からの要請を受け、同市へ緊急セット600セットを搬送。

7月8日 07:30 アセスメントチーム第2班（大分赤十字病院）を大分県西部保健所へ派遣。

10:00 アセスメントチーム第2班が、同保健所長らと医療支援の調整について協議。

14:20 アセスメントチーム第2班が日田市内避難所（3か所）の巡回を開始。



福岡県支部における救援物資搬送の様子（7月6日）

### （2）本社の対応

- 7月5日 18:00 第1次救護体制にて情報収集を開始。  
7月6日 11:15 本社職員を福岡県支部へ派遣。  
15:40 同職員が福岡県支部に到着。情報収集を開始。  
17:35 同職員が福岡県支部のアセスメントチーム第2班（福岡赤十字病院）に同行。

### （3）義援金の募集

日本赤十字社では、被災された方々の生活再建の一助とするため、義援金を受け付けています。お寄せいただいた義援金は、被害状況に応じて按分され、各被災県に設置された義援金配分委員会を通じ、全額を被災された皆様にお届けします。

詳しくは日本赤十字社のホームページをご参照ください。

[http://www.jrc.or.jp/contribution/170707\\_004852.html](http://www.jrc.or.jp/contribution/170707_004852.html)

## 5 災害救助法の適用

標記災害により、多数の者が生命または身体に危害を受け、または受けるおそれがある、継続的に救助を必要としていることから、福岡県は3市町村、大分県は2市に災害救助法が適用されています。（いずれも7月5日適用）